

鉄道係員に対する暴力行為の件数・発生状況について (2020年度上期/大手民鉄16社)

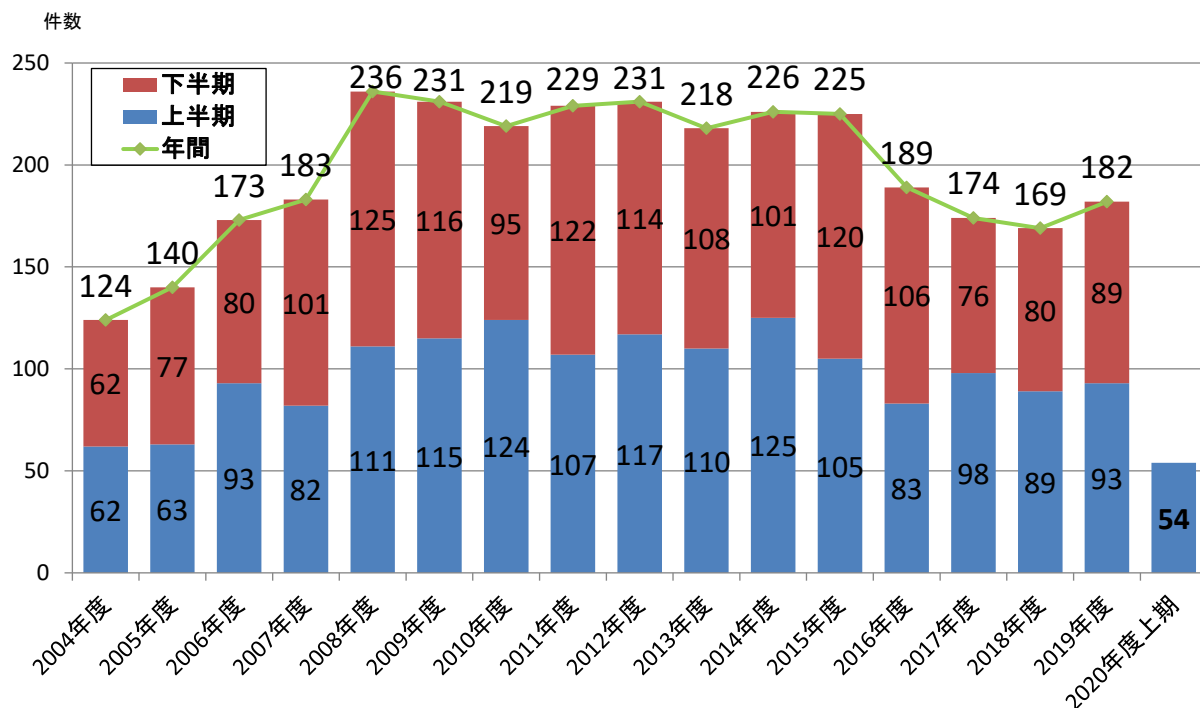
日本民営鉄道協会では、大手民鉄16社（東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄、名鉄、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神、西鉄）における2020年度上期（4月～9月）6ヶ月間に発生した駅係員や乗務員等の鉄道係員に対する暴力行為の件数について集計を行ったところ、暴力行為の発生件数は54件と、前年同期と比べて39件減少しました。

本年度上期においては、暴力件数は減少しましたが、緊急事態宣言による移動の制限やテレワークの推進等に伴い輸送人員が対前年同期と比べて約3割減になったことを踏まえると依然として高い水準にあります。

暴力行為が発生する状況としては、鉄道係員が迷惑行為を注意した時や、はっきりとした理由が見当たらないケースが多く、時間帯については夜・深夜帯（17時以降）に集中して発生しています。また、加害者年齢は幅広い年代に分布しており、飲酒している場合が多いことが見受けられます。

犯罪である暴力行為をなくし、安全で快適な鉄道を維持するため、当協会では引き続き啓発ポスターの掲出など各種の取り組みを実施してまいります。

年度別発生件数



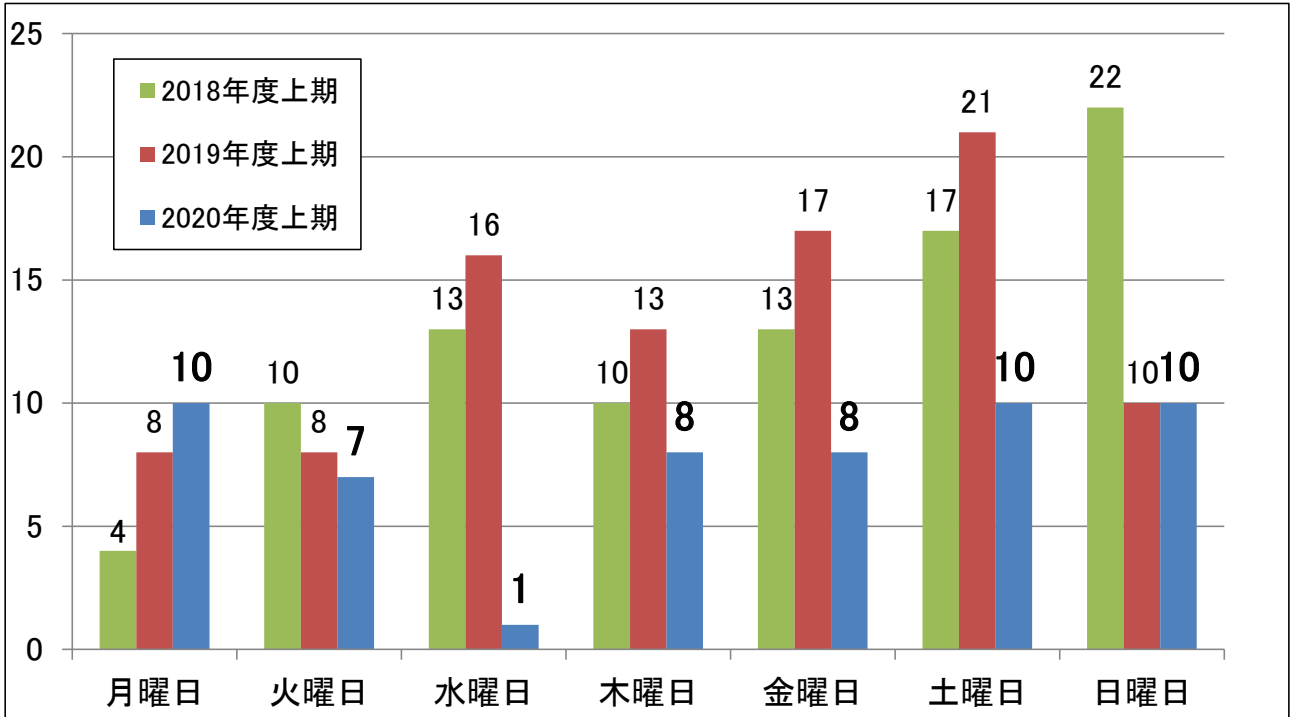
(参考) 以下の項目の集計結果を別紙にて紹介しています。

- 1.曜日別 発生件数
- 2.時間帯別 発生件数
- 3.主な場所別 発生件数
- 4.主な契機別 発生件数
- 5.加害者年齢
- 6.加害者の飲酒状況
- 7.具体的事例

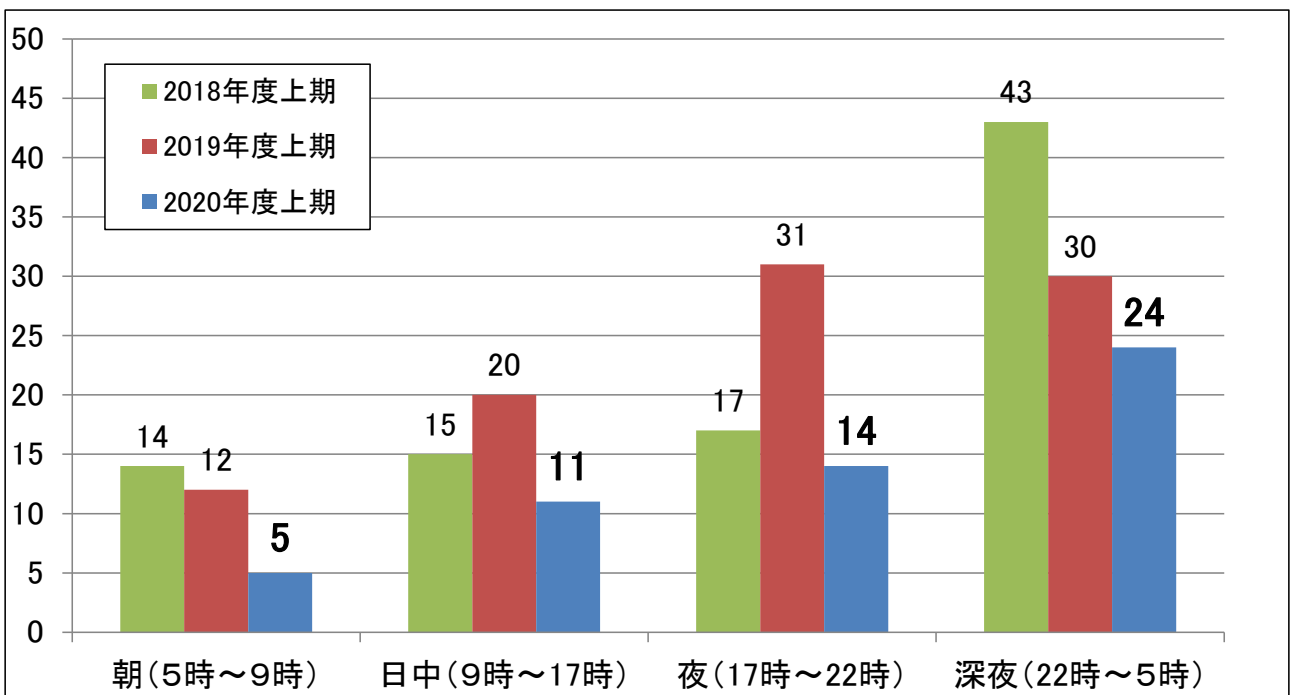
※なお、別紙に記載しておりますこと以外の詳細な内容や件数は公表しておりません。

鉄道係員に対する暴力行為の発生状況別件数・具体的事例等(詳細)

1. 曜日別 発生件数

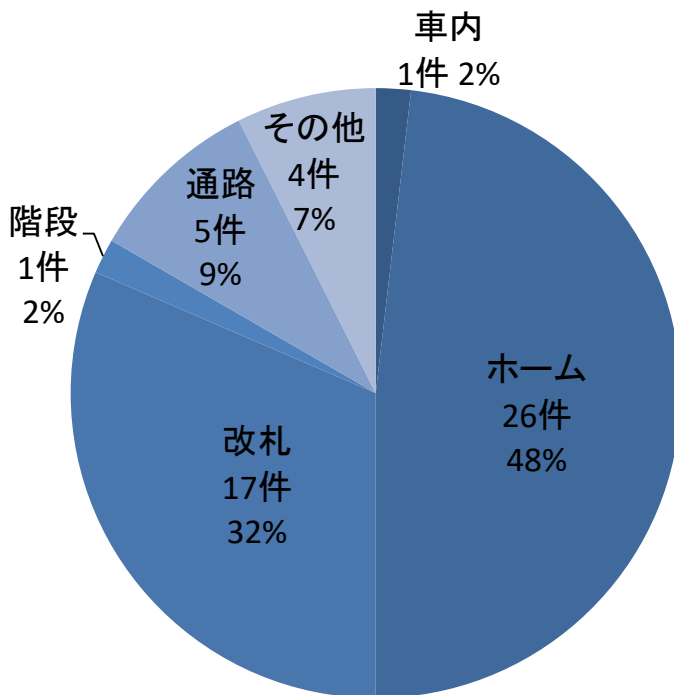


2. 時間帯別 発生件数

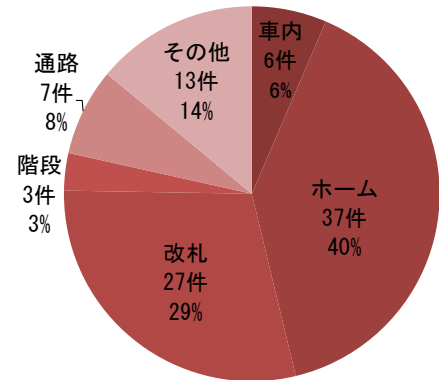


3. 主な場所別 発生件数

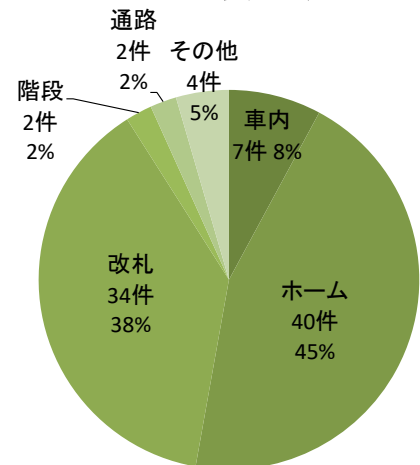
2020年度上期



2019年度上期

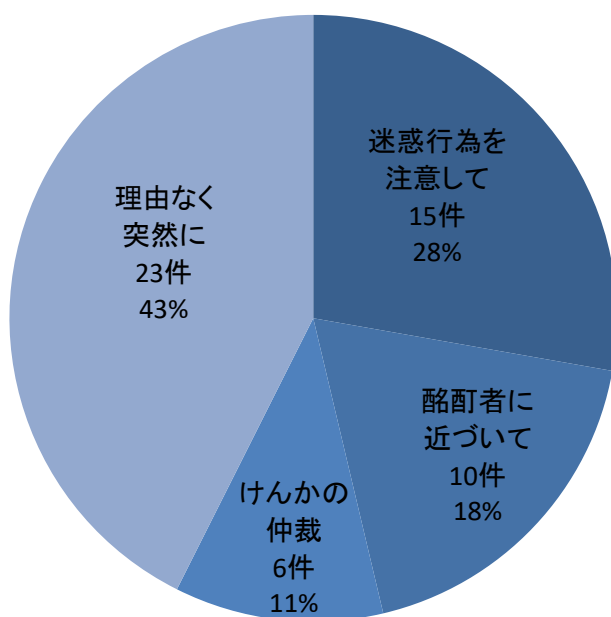


2018年度上期

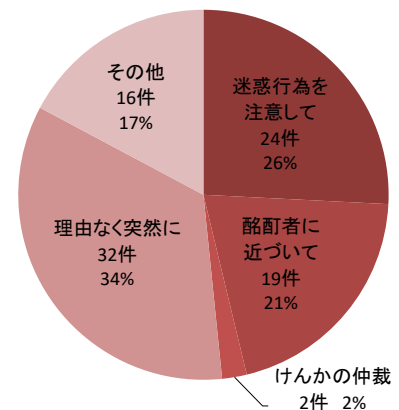


4. 主な契機別 発生件数

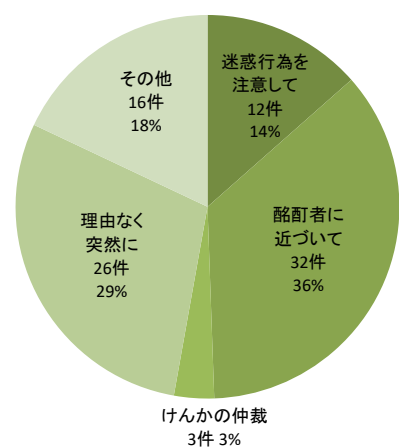
2020年度上期



2019年度上期

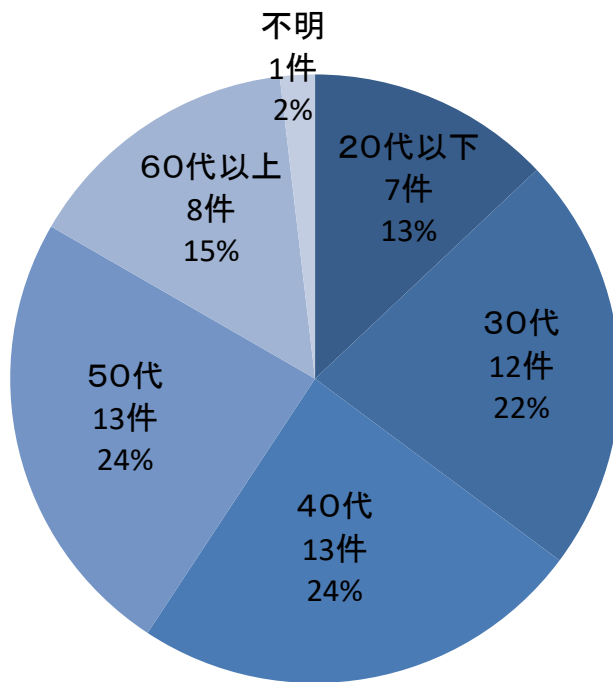


2018年度上期

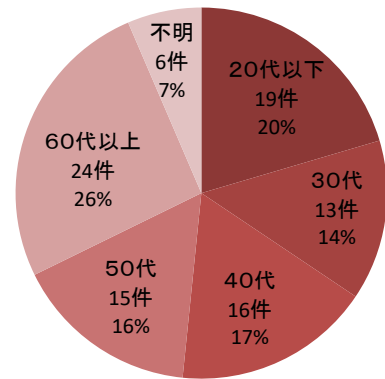


5. 加害者年齢

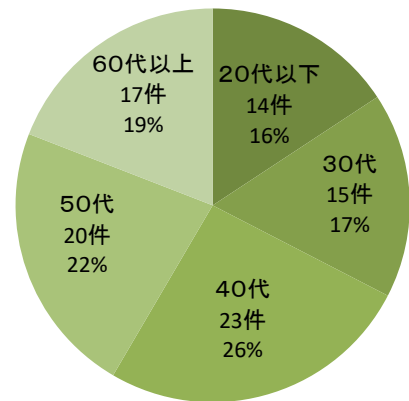
2020年度上期



2019年度上期

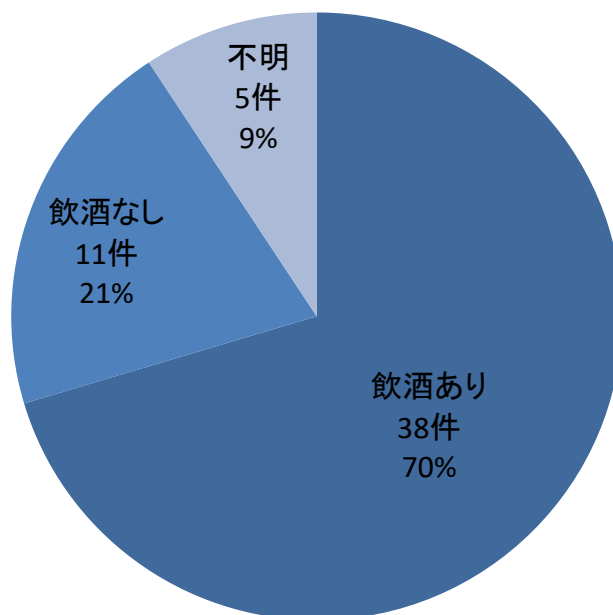


2018年度上期

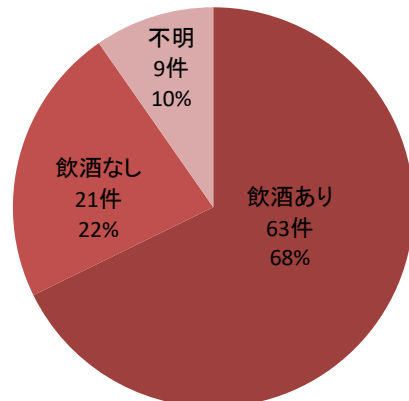


6. 加害者の飲酒状況

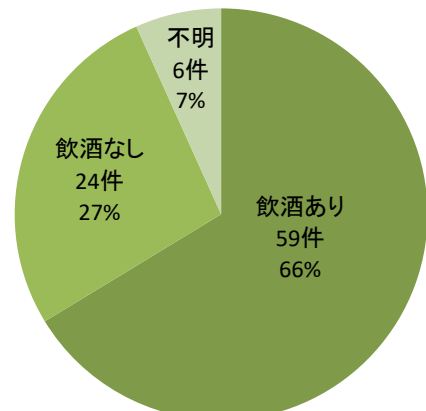
2020年度上期



2019年度上期



2018年度上期



7. 具体的事例

【事例1】

曜日	月曜日	時間帯	深夜 (22時～5時)	場所	ホーム
契機	酩酊者に近づいて	年齢	20代	飲酒	あり

駅係員が、ベンチで座っていた加害者に対して改札口へ案内しようとしたところ、突然近くにあった公衆電話が倒されるとともに、駅係員が蹴り上げられた。

【事例2】

曜日	火曜日	時間帯	深夜 (22時～5時)	場所	車内・階段
契機	迷惑行為を注意して	年齢	30代	飲酒	あり

駅係員が、車内で寝ていた加害者に降車を促した際、怒声と共に車内窓ガラスを叩き降車した。その後加害者がエスカレーターを強く蹴りながら昇っていたため、注意したところ激高し昇りのエスカレーターを駆け降りてきて跳び蹴りをされた。さらに、蹴りや殴打など計6回の暴力被害を受けた。

【事例3】

曜日	土曜日	時間帯	朝 (5時～9時)	場所	券売機前
契機	理由なく突然に	年齢	20代	飲酒	あり

駅係員が、警察官に付き添われた加害者の代わりに切符を購入していた際、突然後ろから左太ももを蹴られた。

【事例4】

曜日	木曜日	時間帯	夜 (17時～22時)	場所	改札
契機	けんかの仲裁	年齢	50代	飲酒	なし

駅係員が、旅客同士のトラブルを仲裁した際、一方の旅客が謝罪した為帰宅させた。それに対し立腹した加害者に殴られそうになり、駅係員がよけたところ、加害者が転倒したので取り押さえた。その後、駅係員が少し落ち着いた様子の加害者から離れようとしたところ、カッターナイフを取り出した加害者に「殺してやる」と威嚇された。